

1 PLAN(目的・概要)

政策名	国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	企画調整室 企画担当課長
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化	成果	コスト		
事務事業名	港湾統計事務			連絡先	052-654-7841
目的	対象(誰・何を) 意図(どうい う状態にしたいか)	港湾統計		事業期間	平成20年度～
概要	NACCSデータの活用を推進することにより、コンテナ情報を収集し、より精度の高い港湾統計データの作成を行います。			根拠法令等	統計法、港湾調査規則
令和元年度の実施予定	基幹統計事務を基本とし、統計法規定の統計として、名古屋港で取り扱われた船舶及びNUTS、NACCSデータの活用をした貨物量を調査し、コンピューター処理の統計データを作成、月・年毎に集計し国に報告します。統計データを基に、港湾統計情報として刊行物及びインターネットにより月・年毎に公表します。港湾関係者及び庁内からの諸施策に活用できる統計資料の作成要請に応えます。			実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
				関連シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	本港における船舶及び貨物量を調査し、月・年毎に集計し国に報告するとともに、刊行物及びインターネットにより公表しました。また、港湾関係者及び本組合関係部署の要請に対応して、必要な統計資料を作成提供しました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	92,605	121,956	107,173	107,245	
人件費	千円	55,140	46,095	45,870	49,035	
合計	千円	147,745	168,051	153,043	156,280	

3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
月報、年報等作成件数(件)	目標	29	29	29	29	船舶・貨物等の情報を収集し、月報、年報等を作成します。	
	実績	29	29	29	29		
(単年度管理型)	事業進捗状況(元年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
	目標						
	実績						
	事業進捗状況(元年度)						
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	月報、年報等の作成件数については、目標値どおり、29件作成しました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	○	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？					
	○	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？					
有効性	○	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？					
	○	期待どおりの成果が得られているか？					
効率性	○	最小のコストとなっているか？					
	○	NACCSデータの活用を推進、調査票作成支援ソフト等の活用により効率性を高めています。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	外内部へ統計データを継続して提供していく必要があるため。
課題			2年度以降の取組
引き続き、精度の高いデータの収集と、ニーズに対応した統計資料を提供していく必要があります。			引き続き、港湾関係者の協力を得ながら、適切な時期に正確な統計データを提供していきます。